

川島小学校統廃合に関する地元懇談会 町長挨拶（要旨）

（令和4年7月19日）

- ・ 本日、川島地区在住の皆様、川島小学校通学児童の保護者の皆様を対象とした地元懇談会を開催したところ、ご多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。傍聴の皆様にも感謝申し上げます。
- ・ 川島小学校については「隣接する他校と統合」が、現在の町と教育委員会の統一した方針案です。
- ・ 本日に至るまで、多くの方から「川島小学校を残して欲しい」との要望をいただきましたが、「川島小学校は良い学校であること。残せるものならば残したい」という思いは、町も教育委員会も同じです。
- ・ 保護者や地域の皆様のご理解ご協力の下で、先生方や教育委員会が良い教育を行っていることを多くの皆様に評価いただいていますし、地域にとっても大切な学校を残したいと考えるお気持ちも当然だと思います。
- ・ 一方で「子どもたちや地域の将来を考えると統合もやむを得ない」との気持ちも多くの方が抱いているのも事実で、その両方の気持ちを持たれている方が大半ではないでしょうか。
- ・ 去年の地区説明会の後、会場では発言できなかったが、そうした思いがあることを直接打ち明けていただいた方が何人か、おられました。
- ・ 以前、私は「この問題が地域を分断している」とお話ししたこともありましたが、賛成か反対かといった形で分けられない大変複雑な問題であったと今は痛感しております。
- ・ それ故、「学校を残したい」という保護者や川島地区の皆様の気持ちは、あえて変えていただく必要はありませんし、町も教育委員会も皆さんを説得するという考えは持っておりません。
- ・ それでも、現在の児童数で学校を存続していくことは、公立の小学校として、また、児童にとって大きな問題があると考えて苦渋の選択をした次第です。
- ・ 学校の配置替え・統合に関しては、方針を決めてすぐに実施できるものではなく、数年間の準備が必要です。
- ・ このため、この12月議会で議案を提出し、この問題に対して、町や教育委員会と一緒に取り組んでこられた、現在の町議会議員の皆さんに最終判断を仰ぐこととしました。
- ・ 本日は、これに先立ち、町や教育委員会が考えている川島小学校の統廃合が必要としている理由を改めてご説明するとともに、川島地区の活性化について町が考えている案も提示いたします。
- ・ その上で、本日もご出席の皆様から忌憚のないご意見、お考えをお聞きしたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。